

ブリッジ BRIDGE



社会福祉法人 ゆうかり

75 11
2022



● 特集 子どもたちの集いの場所

〈ゆうかり保育園〉

● 十五夜、合同レクリエーション 他

〈ゆうかり学園〉

● 七夕、親子レクリエーション 他

〈ゆうかり保育園〉

● 誕生会、吉野公園外出 他

〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

特集ページ

子どもたちの集いの場所

様々な木々や花が植えられ、四季を感じられる、ゆうかり保育園の園庭。砂や水の感触を肌で感じ、夢中で遊んでいます。

立体遊具・三輪車・タイヤ渡り・木登り・砂場・ホッピングなど1人ひとりが好きな遊びを見つけ、「やってみたい！」の気持ちを満たします。



そんな子どもたちが大好きな園庭は、異なる年齢の子どもたちの集いの場でもあります。

普段は食事・排泄・睡眠など生活リズムが違うため、別の保育室で過ごしています。

園庭ではクラスを超えて自然と触れあう姿があり、大きい組さんが小さい組さんの手を引き、「一緒に行こう」「三輪車乗る？」と遊びに誘ったり、転んで泣いていたら、「どうしたの？大丈夫？」「痛かったね」と寄り添う姿があり、そんな姿を見て、微笑ましく温かな気持ちになります。



大きい組さんの中には保育士の姿をよく見ている子どももあり、小さい組さんの目線の高さに合わせて話しかけている姿も。そこには頼もしい小さな保育士がいるようにも見え、また、私たち保育士を模倣する姿に思わずクスッと笑ってしまいます。

現在の大きい組さんも小さい頃に、同じように優しく声をかけてもらったり、遊んでくれたりと嬉しかった記憶が残っているのだろうと思います。



子どもたちが目を輝かせ、時間を忘れるくらい夢中になってとことん遊べる、みんなの集いの場である園庭。季節が変わり、子どもたちの成長を楽しみにしながら、今日も見守っていきたいと思います。

writer: 松元 佳奈子



9.12 十五夜
お弁当美味しかった



月が〜出た出た〜♪



9.13 合同レクリエーション
どんな魚が釣れたかな？



大白熱の風船バレー



夜は花火大会！綺麗でした



おそなえもの



狙って狙って



ヨーヨーが釣れてニッコリ



9.20 元気会
皆さんいつまでも元気に過ごしてください！



葉牡丹
葉牡丹ははじめました。



立派に育ちますように



いつまでも元気に！



大熱唱でした♪



門松宜しくお願いします。

合同レクリエーションを行いました！

9月13日に生活介護・そうさく班合同レクリエーションを行いました。コロナ禍で行える行事も少なくなっており、利用者の皆さんに少しでも楽しんで頂こうとの企画です。うちわで風船バレーと魚釣りゲーム、夏祭りの雰囲気少しでも味わってもらおうと、的あてゲーム、ポンポン釣りの4つのゲームを行いました。また、参加するとスタンプカードにスタンプを押し、カードと景品を引き換えてもらうことができます。準備の段階から利用者の皆さんにも参加してもらい、出来上がり

と共に楽しみも増していったように感じました。当日も大いに盛り上がり、「たくさん魚が釣れた！」「的を全部倒した！」等それぞれのレクリエーションの場所で歓声が響いていました。最後に景品のアイスと交換し、「美味しい」と言いながら嬉しそうに召し上がっている様子を見て、利用者の皆さんが少しでも楽しんで参加できる内容を企画し、行っていただけると改めて感じた一日でした。

writer: 中原 育代



7月☆七夕☆



みんなで笹に飾りつけをしました!



きれいだね



どんなお願いごとをしたのかな



7月16~17日さくら組おとまり保育♪
まずはクッキングからスタート!



自分たちで作ったカレー、
おいしかったよ!



オリジナルのフォトフレームも
作りました



夜の園内探検はちよっぴりドキドキ!



9月17日 親子レクリエーション



小さい組さんも…



大きい組さんも…



みんな、と〜っても
よく頑張りました!!



10月7日 秋の遠足



大きい組さんは、
バスで健康の森公園へ!



小さい組さんは園内で
どんぐり拾いをしたり、



近くの消防署までお散歩したりしたよ!
楽しかったね♪

おたんじょうび

お誕生日には、お集まりの時間にお友達の前立ってインタビューに答えます。「好きなあそびは?」「好きなケーキは?」などの質問に照れながら答えると、「Happyバースデー」の歌のプレゼントがもらえる素敵な日です。緊張していた顔も、歌が終わる頃にはとっても良い笑顔になっています。コロナ禍で何かと制限される毎日ですが、ひとりでも、ひとつでも多くの笑顔がみられるような園生活を過ごしてほしいと思っています。

食育の時間

夏が終わり、待ちにまった食欲の秋。子どもたちは、食育で食べ物クイズに挑戦です。今回は、クイズの正解がわかったらその食べ物のカードを釣り竿で釣るとい、頭とからだを使う釣りゲーム。答えがわかっても上手に食べ物を釣れなかったり、なかなか釣れないお友だちに自然と応援の声があふれたり。苦戦する場面もありましたが、みんな全問正解してごほうびの人参収穫体験で人参の形をしたポン菓子をゲットしました。今年の秋もみんなでおいしい食べ物をいっぱい食べられますように。

研修報告 給食施設従事者研修会を終えて

施設の栄養士や給食担当者等を対象とした研修会が9月16日に鹿児島市中央公民館にて行われました。講師に池田京子氏を迎え、「多様な特性に配慮した食支援～専門職としてのスキルアップを目指して～」をテーマに講演が行われました。栄養教育の概要や特別な支援を必要とする人たちへの理解と栄養教育について等、事例を交えながら話して頂きました。事例では、現場で実際に見られる場面と似たような例も挙げられており参考になりました。事例を通して日頃の

検討内容では、利用者さんの食事形態や量、栄養面を検討する事が多く、食事の際の行動に注目して支援を検討する事が少なかったと気付きました。

今後は、状況を観察し気付きや疑問を見つけ、栄養士や看護師、他の職員等と情報共有や連携を図り、利用者さんがより楽しく食事ができる時間を作っていきたいと思います。

writer: 大辻 理紗

研修報告 相談支援従事者初任者研修を受けて

9/2、9/5、9/22に表題の研修に参加させていただきました。2月の研修同様にコロナ禍のため、動画配信での研修となりました。普段の支援の基礎となる「サービス等利用計画・個別支援計画」の意義・作成手順等を学びました。研修を通して、計画の重要性をスタッフ全員が再認識し、スタッフ間の意識共有の必要性を感じました。日々の業務に追われていると、一つ一つの対応の意識

が薄れてしまいそうになりますが、基本に立ち返り、利用者さん目線の対応を心がけて行けたらと感じました。また、個別支援計画の作成にあたり利用者さん一人一人の求めている物の本質を見抜き、その方にとって最大限の幸福になるような計画、支援を行っていくことが必要だと感じました。

writer: 大辻 博幸

お悔み

Yさん（享年七九歳）

昭和四十二年に入所され、木工班で木工品製作をされていました。生活介護班に移ってからも、体操やレクリエーションなど楽しそうに参加されていました。美空ひばりさんが大好きで、音楽をかけると

でも嬉しそうにされていました。よく周りの利用者や職員に冗談をしてはニコニコと笑っていたことが昨日のように思い出されます。在りし日の姿を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



長寿祝い 還暦、古希、喜寿を迎えました。おめでとうございます！



還暦
Tさん S37生まれ



還暦
Sさん S37生まれ



還暦
Fさん S37生まれ



古希
Tさん S27生まれ



喜寿
Iさん S20生まれ

「ソーシャルインクルージョン (社会的包摂)の世界をめざして」

社会福祉法人ゆうかり 評議員 精松基

鹿児島県の障害児保育の黎明期

私の勤めているふじヶ丘保育園が初めて障害のあるお子さんを受け入れたのは昭和58年のことでした。

ダウン症の女の子です。

以来様々な障害のお子さんが入園しました。

ウチに来られるまでの経緯を尋ねますと多くの幼稚園・保育園で入園を断られたとのこと。

その理由は「受け入れた経験がない」というものが最も多かったです。もちろんウチも初めての障害には不安が大きかったです。

地域の皆さんの温かい支え

自閉症(自閉症スペクトラム障害)のお子さんがいました。

ある時彼が園内からいなくなりました。

職員で手分けして近所を探していると1kmほど離れたところにあるガソリンスタンドから電話があり「男の子が素っ裸で県道を走って来たから今保護しているよ。先生の園の子じゃないかと思って

電話した。」とのこと。

地域の皆さんの温かい目に支えられてきました。

障害保育の制度的問題

もちろん行政や保育園団体にも制度の拡充を訴えました。

ある園長は私のことを心配して「園長たちの中ではアカと言われてるよ」と忠告してくれました。園長会で障害児保育の制度的問題などを指摘すると「まただ」と聞こえよがしに言われました。

水流源彦さんとの出会い

私が初めて水流源彦さんにお会いしたのはいつだったのでしょうか。源彦さんは山下町の市役所の近くのビルの1室を借りて(自主)勉強会を始められたのです。毎回錚々たる講師陣でそれは梁山泊のようでした。

そのような場を求めている私は毎回いそいそと出かけていきました。

そこでエンパワーメントされた私が今では児童発達支援セン

ターで多機関連携勉強会や保育所等訪問支援・幼保小連絡会などで保育所等の障害児保育を支援しています。

ウチと連携しているところで障害児だからと入園を受け入れない園はほとんどありません。

療育施設の課題

20年前に自主事業で療育クラブを始めて以来鹿児島市は驚くほど障害児保育や療育に力を入れてくれています。

この頃は療育施設がたいへん多くなるにつれ発達支援の中身に課題の事業所が見受けられそのような内容の支援も私たちの責任と思っています。

源彦さん、これからも先駆者としてまた理事長としてのゆうかりの発展を心から祈念しています。



プロフィール

社会福祉法人鹿児島福祉会 理事長 精松基

【好きなもの】 旅と読書

【好きな音楽】 アコースティックギター

【好きな時間】 映画を見ているとき

「そんな時代もあったね」といつか笑って話せるわ・・・ふと、そんな歌が脳裏をよぎる。コロナ禍は今だに継続中で、世界はロシアとウクライナの軍事衝突に翻弄され疲弊しそうな勢い。私事ではあるけど、能天気にもドローンで遊んでる場合じゃないな、なんて数年前には考えも及ばない「しほり」に窮屈さをとても静かに覚える。でも、学園に一歩足を踏み入ると何となく「どこ吹く風」を感じる。世界がどんな状態であっても、泣いたり叫んだり怒ったり笑ったり、自分の事で精一杯?の姿を目にするが、そこに何事にも囚われない「自由」を感じるのはどういう事だろうか。「どこ吹く風」のみんなを見ていると、とても「クール」だねと心の中でサムズアップしている。

writer : 川田 晃一

= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌐 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
11月	14日 インフルエンザ予防接種 誕生日会	10日 歯科検診 18日 避難訓練 29日 誕生日会	避難訓練 健康診断
12月	誕生日会(クリスマス会)	9日 避難訓練 12日～16日 発表会参観(予定) 21日 発表会撮影日(予定) 27日 誕生日会	クリスマス会 忘年会
1月	新年会 誕生日会	12日 餅つき 20日 避難訓練 31日 誕生日会	新年会

※新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 松山 竜馬・塚田 詞子・川田 晃一(ゆうかり学園) 神之 恵理・松元佳奈子(ゆうかり保育園)
阿間見 良・四元 静・八瀬尾 理恵(地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

